

再生可能エネルギー100%の島(デンマーク:サムソ島、エーロ島)
地域で使うエネルギーを100%再生可能エネルギーでまか
ています。

地球温暖化防止の事例紹介(世界編) ⑧



風力発電



エーロ島

サムソ島は面積114km²、人口4,300人の島です。1997年に「デンマーク自然エネルギーの島」プロジェクト
に選ばれ、1998年から10年間で再生可能エネルギー100%を目指す取り組みが、住民と商工会議所、農業協同
組合、自治体、エネルギー環境事務所ですスタートしました。



バイオエネルギー設備(草)

島の電力は、風車で100%まかされており、陸上の風車1MWが11基、洋上風車は
2.3MWが10基稼働し、余った電力は本土に売電しています。これらの風車はほとんど
島民が所有しており、所有者の売電収入の一部は島のエネルギー開発のために当てら
れています。また、家の暖房や給湯に利用する熱の供給も行われており、そのエネルギ
ー源としてカーボンニュートラル(二酸化炭素排出ゼロ)な素材である藁(わら)や太陽
熱のエネルギーが利用されています。

サムソ島もエーロ島も、再生可能エネルギー100%の島ということで観
光客が増え、ホテルやレストランでは収益が上がるようになりました。

島全体にとっても、化石燃料を購入することがなくなり、環境、経済、社会
の全ての要素がプラスに働くようになり、島民にとって大きな誇りとなっ
ています。できないのではなく、どのようにすればできるようになるのか、学ん
でみませんか！

太陽熱エネルギー



トピックス

高知でもこんな取組みが！【高知県榑原町】

榑原町では、風力発電による売電益の一部をFSCの森林整備に活用したり、
住民の太陽光発電パネル設置に助成金を出すなどの他、木質バイオマスで基幹産業
の木材の乾燥に活用するなど、多様な再生可能エネルギーの利用を積極的に推進しています。「循環・共生・参加」をキ
ーワードとした環境の町の取り組みは、地域のエネルギー自給率を高めるとともに、子どもたちの大切な環境学習の場と
もなっています。 FSC(Forest Stewardship Council、森林管理協議会)は、木材を生産する森林、そしてその森林から切り出された木材を使って生産・加工
を行なっているかどうかを認証する国際機関の一つです。FSCのマークが入った製品を買うことで、消費者も世界の森林保全に間接的に貢献できる仕組みです。



榑原町